

# 議会だより 京丹後

12月定例会の内容を中心にお伝えします。



町おこし! 久美浜の春「竹雛」(久美浜町稲葉本家) 表紙写真は、久美浜町の井蓋啓一さんにご提供いただきました。

## 3月定例会の予定

●議会へ傍聴にお越しください。

- 2月25日 本会議 (招集日)
- 3月 9日 本会議 (代表質問・一般質問)
- 3月10日 本会議 (一般質問)
- 3月11日 本会議 (一般質問、議案審査)
- 3月30日 本会議 (最終日)

—— 令和3年5月発行 議会だより京丹後の表紙写真を募集いたします ——

●お問い合わせは議会事務局へ (TEL. 0772-69-0010)

## 新年のごあいさつ

京丹後市議会  
議長 金田 隼仁

## 新年あけましておめでとうございませう

市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より議会に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年からは新型コロナウイルス感染症が日本、そして世界中を襲い、私たちの生活を一変させています。本市におきましても新たな陽性者が確認されており、予断を許さない状況となっております。

一方で本市は、市民の感染予防と安全・安心な観光推進を実現するための新型コロナウイルス感染症等に対応する条例を制定しています。感染予防の重要性を常に自覚し、緊張感をもって普段の生活の中でコロナ対策を徹底していくことで、この難局を乗り越えていけるものと確信しています。

今年の干支は丑（ウシ）です。丑年は先を急がず「我慢（耐える）」、目前のことを着実に進めることが将来の成功につながるというわれています。

カギを握るこの一年、議会といたしましても皆さまの声をしっかりと聞きし、市民目線の議会を心にとどめ、共に一歩ずつ歩みを進めてまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 12月定例会

12月定例会は11月26日から12月18日までの23日間を会期として開催しました。

新型コロナウイルス対策などを計上した3つの一般会計補正予算のほか、観光関連施設の指定管理者の指定や水洗化計画の一部見直し、陳情3件を含めた、計43件を審査しました。

## 令和2年度一般会計補正予算（第8号、9号、10号）

補正後予算額 413億4,531万円

## ◆第8号 2億3,143万円 ……【全員賛成で可決】

- 京丹後のお宿の「安全・安心と人材の確保」支援事業 …… 80万円  
観光公社が行う市外からの就業希望者にコロナウイルス検査費用を補助
- 有害鳥獣被害防止に向け、モデル地区を選定し具体的な防止対策を検討 …… 159万円  
モデル地区（予定）：丹後町・久美浜町内4地区
- 京丹後駅伝の情報発信事業補助金 …… 191万円  
市が寄付を募るふるさと納税で資金を全額調達

## ◆第9号 1億5,400万円 ……【賛成多数で可決】

- 安全で安心な観光とふるさと創生事業 …… 1,407万円
- 市内事業所の従業員等の緊急感染予防を支援 …… 5,000万円
- 中小企業者等への緊急経済支援策（追加分） …… 9,000万円

## ◆第10号 2,505万円 ……【全員賛成で可決】

- ひとり親世帯臨時特別給付金を再支給 …… 2,505万円  
1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を再支給

## 主な質疑

○有害鳥獣被害防止対策を検討

問 モデル地区とは。

答 猿被害の多い丹後町2地区、鹿・猪被害の多い久美浜町2地区を予定。

問 今までの施策をあらためてどう考えるか。

答 市の被害額のピーク時1億3000万円が昨年は2800万円まで減少した。今回は、全国の知見を集め、地区の実情と合わせて検討する。

○市内事業所の従業員等の感染予防を支援

問 スポーツや文化活動などの任意団体は含むか。

答 任意団体は含まない。

問 期間の考え方は。

答 予算がなくなり次第、終了とする。



有害鳥獣被害



ふるさと納税で寄付を募る

### 賛成討論

○市内の観光事業者は、人材不足にある。お宿の人材不足にある。お宿の安全・安心と人材確保の事業は、安心を促す。「京丹後市が安心して安全に旅行ができるまち」だと認識されることを期待する。

○今回は人手不足に関わる喫緊の対策だが、慢性的な人手不足を解決する施策を期待する。

○京丹後駅伝の情報発信事業は今後のふるさと納税の寄付につながる。本来なら教育予算は惜しみなく注ぐべきだが、ふるさと納税はそのきっかけづくりになる。

## 安全で安心な観光とふるさと創生の推進へ 市・観光公社・ANA総研と三者協定を締結



### 意見交換

具体的な提携先や実績をANA総研が公表していないとの説明だが、協定の締結を審査する委員会においてその程度の情報がない。実績効果の説明が不足していることは残念である。追加の説明において実績の報告もあったが、委員会の審査に対し十分な準備を求める。

### 賛成討論

○ANAグループ全体の知見を有する人材を本市に受け入れることで、広く高い視野からの観光振興につながる展望を開くこ



ANAの就航空港

とができる。協定は本市に大きなメリットがあり、子どもたちの夢を広げることにもつながる。

○ANAのマイレージクラブ会員3360万人へのアプローチや、広告力、企画力を活用し、本市の食やジャオといった観光資源を活用した安全で安心な観光の推進だけでなく、ブランド力向上、人材育成、まちづくりに至るまで、観光業に限らず幅広い分野に寄与することも連携協力事項として挙げられており、期待できる。

### 【全員賛成で可決】

## 第9号補正予算 マイクロツーリズムの次の二手 「航空機+レンタカー」で全国から誘客へ

問 特定企業の支援に見えるが、観光産業以外でも同様の補助を行っているのか。

答 企業支援ではなく、観光産業のフロンティアを作りたい。公益性を担保するために協定を組む。

問 実施予定時期が5月から6月となっているが、コロナ等の状況により柔軟に考えるのか。

答 事業者の方はGOTOトラベル終了後の集客を懸念されておられるので状況を見ながら進めたい。

問 パイロット事業は全国的に根付いていない。どのように本市観光行政に根付かせるのか。

答 効果を測定しながら広く検証をしていく。

○これまでの内需拡大支援策は、事業者にとって必要なもの。さらに、従業員への感染対策への補助は、安心して仕事ができる環境整備につながる。

### 意見交換

ANAダイナミックパッケージは現状の登録宿が一軒だ。パイロット事業ができるよう環境整備し

### 賛成討論

○観光客の8割以上は関西の方である。ANAとの連携による関東方面や世界への認知度アップによる集客力強化は、観光立市をうたう本市にとって大きな力となり希望となる。また他の地場産業にも商圏の拡大など大きく波及していくものと期待する。

【賛成16・退席2で可決】

# 市内3つの温泉施設の指定管理者の指定

## チップポイラーに関する意見交換

○チップ9割、灯油が1割が当初の計画であったが、灯油の下落で、現在チップより灯油を使うほうが安価。収支改善の観点からも通常ポイラーでの営業が望ましい。

○3つの温泉施設のチップポイラーの使用のあり方について、指定管理料は市税を使っている。

チップを燃やすことが灯油より割高になることから、チップを使えば経営的にはマイナスになる。ポイラーの設置も補助金を活用していることから、チップの使用によって指定管理料が減るのかという中で判断されるべきと考えられる。市民から誤解のない指定管理料のあり方を検討していくべきと申し添える。

○市内全般の温泉施設で使用されている木質チップは、市内の森林保全のために間伐材を温泉

施設で使用するために、整備をした。浅茂川温泉では老朽化によって木質チップが使用できない状況にある。今後はしっかりと木質チップが使用できるように市の努力が求められる。

### 主な質疑

**問** 老朽化が著しい部分の安全性は担保できているのか。

**答** 雨漏りや水漏れ等、不安はあるが、利用者の安全を脅かすものではない。

**問** 管理料の考え方は。

### 主な質疑

**問** 新たな指定管理者から、地域との関係、施設の活用についての提案は。

**答** イベント開催・買物が地域の課題。空きスペースを活用し、必要なものを販売する。

### 賛成討論

○地域に密着した運営を新たに規定している。地域活性化の拠点施設として投資効果も含め生かせるよう期待する。

### 【全員賛成で可決】

## ●浅茂川温泉静の里

現管理者が引き続き管理を行う。今後3年間で、

老朽化した施設のあり方を検討する。

### 主な質疑

**問** 老朽化が著しい部分の安全性は担保できているのか。

**答** 雨漏りや水漏れ等、不安はあるが、利用者の安全を脅かすものではない。

**問** 管理料の内、年間約600万円がチップポイラーを使用した際の経費で、使用しなければゼロ。他は、人件費が高騰している。

### 賛成討論

○国庫補助で設置したチップポイラーは、府の指摘で改善計画を提出した。補助金の条件として15年間はチップ使用が求められている。適切な施設運用に当たることを申し添える。

### 【全員賛成で可決】

## ●弥栄あしぎぬ温泉

現管理者が引き続き管理を行う。

### 【全員賛成で可決】

# 久美浜湾カヌーセンター条例の制定

カヌーを通じた市民スポーツ及びレクリエーションの振興、地域活性化を目的とし、管理運営に関する内容を規定するもの。

### 主な質疑

**問** 市外学生の使用料について、はごろも陸上競技場では1.5倍。カヌーセンターを2倍とした考えは。

**答** 陸上競技と比べて、カヌー競技は、市外に在住する高校生の個人利用は想定しにくく、他の施設との整合性を図った。

### 賛成討論

○使用料は市内小中高生や、ジュニア教室への減免・免除制度で多くの市民が利用できるようになる。今後、合宿や修学旅行などの誘致も考えており、有意義な利用を期待する。

○カヌーによるまちおこしが実現するよう委託費を適宜見直し、観光事業者等との連携を行い、市内全体を巻き込んだ事業になることを期待する。

### 【全員賛成で可決】

# 水洗化計画の一部見直し新たに4つの区域が下水処理へ

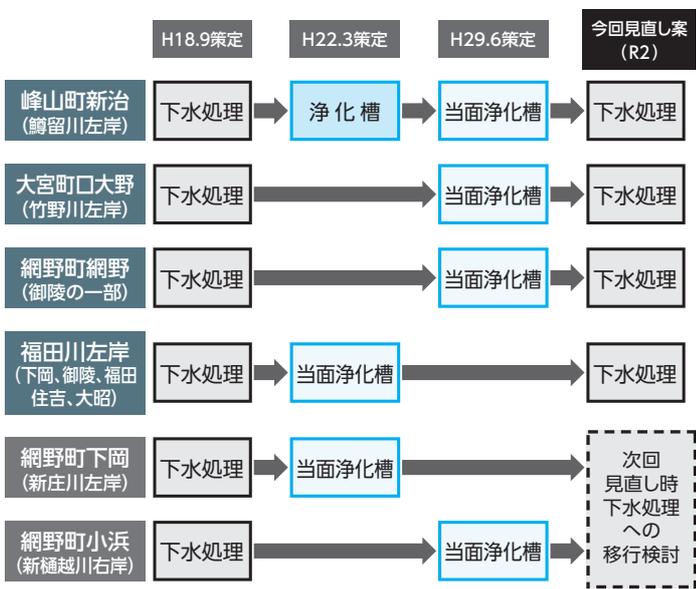
## 意見交換

計画では令和10年までの概算工事費が53億円。事業費は国庫補助50%と市債50%を想定している。枝線部分においては補助の対象外となる場合があるため、新たな起債で対応する必要が出てくる。国庫補助金が重要であり、予算確保に努めていきたい。

## 賛成討論

現在進められている公共下水道事業の6区域と今回の4区域、令和4年度に見直す予定の2区域が、令和10年をもって完了する。現在府下の自治体として水洗化整備率は下から4番目だが、トンネルの出口が見えてきたことは大きな成果である。

### 【全員賛成で可決】



当面浄化槽… 将来再度浄化槽か下水処理かを検討する区域

# 市政を問う

## 12月定例会 一般質問

一般質問は、令和2年12月8日、9日、10日の日程で行い、19人の議員が質問し、市長等に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォンで  
議会の中継・録画が視聴できます

京丹後市議会

検索



<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>

### 一般質問

海岸線の松枯れ、何とかならないか

市長 防除事業を強化したい



創 明  
永井友昭

**問**本市の観光資源である海岸線の「松枯れ」が激しい。その対策を強化できないか。

**市長** 今年被害は激増している。穴文殊など府の保護指定の場所は特に重要だ。防除事業を強化したい。

**旅行券・冬旅について**

**問**ふるさと旅行券「冬旅」1万枚はどのよう

**市長** 対象を絞りしつかり発信した結果、3分で完売。特定の人が大

**問**知らず、買えずとの市民の声があるが。

**市長** 1500件以上の問い合わせがあった。広域に広報して、効果

**問**GO TOなどと合わせると余りにも過剰で、暇と金のある人の

「錬金術」とも言うべき事業ではないか。

**市長** コロナ禍での厳しい市内の観光業者を応援する事業である。

**指定管理消費税問題**

**問**昨年10月消費税が10%となったが、本市の指定管理施設は料金の値上げができず、納入団体は増加分を負担

している。施策が必要ではないか。

**市長** その分の補填はしないが、来年度市の条例を見直したい。

**米軍基地問題**

**問**10月の「安安連」で市長が求めた事故情報開示の改善要望は無視

された。どう考えているか。

**市長** 再度改善を求め次回



穴文殊、瀕死の大黒松

**問**11月3日に経ヶ岬米軍基地で自衛隊の部隊が銃撃戦の訓練を行い、隣接の寺院に激しい銃声（空砲）が響いた。平和憲法の下、専守防衛の自衛隊の訓練として行き過ぎではないか。

**市長** 全国の自衛隊基地で従来からやられているものだ。

一般質問

ふるさと納税30億(令和5) 達成は可能か

市長

本市には様々な資源がある 可能にする



創 明 浜岡大二郎

一般質問

コロナ対策として住宅リフォーム助成を

市長

景気対策として効果があり 慎重に検討する



日本共産党 田中邦生

問 令和2年度の財政見通しではコロナの影響による歳入減と、ふるさと納税を5か年間で96億円達成する歳入増、庁舎再配置や最終処分場整備事業を計上する歳出増により令和6年度末には市債は50億増える。他方、積立金は40億減少し50億円の残になる。両事業は必要か。

市長 合併特例債の時間的制約、満杯に近い最終処分場の現況を考慮すると着工しなければならぬ。

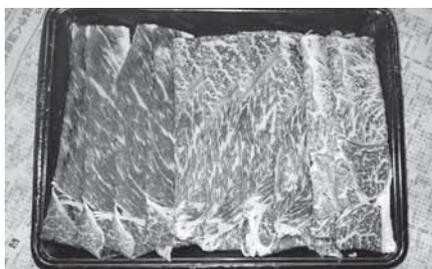
4年で18位に到達することを意味する。達成可能と考える根拠を示していただきたい。

市長 本市には多様な豊富な資源がある。コトに絡んだ納税も考え目標を達成する。

問 ふるさと納税の返礼品は全国で30万点以上もあるが人気は牛肉、豚肉、ウナギ、モガニ、米の順に集中し、一連の品に強みを持っている自治体が上位に並んでいる。残念ながら本市には人気返礼品の供給力はわずかである。ふるさと納税が計画の半額も達成できなければ令和6年末には財政に危機的状況が押し寄せることになりかねない。少子高齢化、人口減少の流れも顕著であり慎重な財政運用が必要である。農水産業従事

者も年々減少している実情から大幅な返礼品増を期待するには無理があると考えるがいかか。

市長 関係諸団体で勉強会、意見交換会を行うとともに市場調査、情報提供をしている。6次産品も開拓し、新規業者も募り目標を達成する。



ふるさと納税 最も人気があるのは牛肉

問 コロナ過で建築関係の仕事が激減する中、「建築機材が動かず大変」と声が上がっている。コロナ禍の経済への波及効果が大きい住宅リフォーム助成の実施が求められている。与謝野町はコロナ対策として住宅改築新築等助成制度を実施しており本市も実施すべきだが。

市長 建設業では来期業況予想は下落傾向、建築業界の方からも厳しい業況であると聞いている。リーマンショック後に実施した住宅改修助成金は景気が落ち込んでいた中での下支えとして一定効果があったことから、住宅リフォーム助成についてコロナ禍の対策としてどのようになれるのか慎重に検討していきたい。

市長 建設業では来期業況予想は下落傾向、建築業界の方からも厳しい業況であると聞いている。リーマンショック後に実施した住宅改修助成金は景気が落ち込んでいた中での下支えとして一定効果があったことから、住宅リフォーム助成についてコロナ禍の対策としてどのようになれるのか慎重に検討していきたい。

問 生活福祉資金の貸付が例年の50倍の200件を超すなど雇用環境の悪化で生活困窮者が激増している。年末年始の相談窓口の設置や年越し支援策が必要であるがどうか。

市長 事業継続へ内需拡大促進事業補助金の活用をしていただいている。事業所の感染予防対策については、追加補正した新たな支援制度を実施する。また、雇用金特例処置に延長は必要と考える。

市長 くらしと仕事の特別相談会の開催や各市民局に年末年始相談窓口を設置して対応する。生活困窮した方は、社会福祉協議会の生活福祉資金を利用してほしい。



経済波及効果の高い住宅リフォーム助成を

一般質問

基幹産業の農業を支える農家支援の考え方は

市長 個人の農家への農機具補助支援も検討したい



日本共産党  
橋本まり子

**問** 従来の「農家個人への支援はしない」という方向ではなく柔軟な対応で高価な農機具への個人補助や、稲作の後の裏作への支援。また有害鳥獣対策への強い市の支援スタンスが必要ではないか。

**市長** 小規模、Uターン、定年帰農など裾野を広げた支援をしていく。農機具の補助についても検討したい。中古農機や修理も視野に入れるかは今後検討。小規模な裏作支援として野菜の二毛作などにチャレンジしていただきたい。有害鳥獣対策については、既存の防護柵の償却期間内でも状況に応じて上乘せ対応は助成対象となる。本年から地元負担なしで防護柵設置ができるが今後も国へ満額割り

当てを要望する。  
**問** 新品種「京式部」今後の方向は。  
**市長** 全力で支援。府が生産者を限定しプレミアム感を高めブランド力を強化している段階。一般的作付けは今後の取り組みとなる。

**障がい者支援について**  
**問** 作業所通所者への給食費の補助復活は。  
**市長** 給食費そのものの支援は慎重な検討が必要だが、工賃アップにつながるバックアップを検討していく。

**子どもの健康を守る**  
**問** 小学校のフッ化洗口。現場からは、「コロナ対応も考え、来年度以降も紙コップ使用」の声があるがどうか。  
**教育長** 学校と相談し、柔軟な体制で負担感を



農業の必須アイテム農機具への多様な支援を

考慮しつつも、コスト面を考え、慣れてきたら使い捨てではないポリコップへの移行を考えている。  
**問** 不登校支援の「麦わら」への施設面、人的支援が不可欠だが。  
**教育長** 施設面でも人的面でもその都度対応したい。ICT機器導入もしていく。

一般質問

高齢者へタクシーチケット補助を

市長 慎重に考えたい



日本共産党  
平林智江美

**問** 年をとっても住み慣れた地域で安心して楽しく暮らしたい。近ごろ、足が痛くてバス停まで行けない。買い物や病院に行くのも困っている。タクシーチケットの補助がないかとの要望がある。舞鶴市では75歳以上が対象で、タクシーチケットへの補助がある。

また、南あわじ市では、ふるさと納税への返礼品にタクシーチケットがある。参考にしているかどうか。

**市長** 公共交通の利用減少につながる可能性もある。目的を限定するなど検討していきたい。南あわじ市のふるさと納税はすばらしい。

**文化芸術振興計画は**  
**問** 人として文化芸術で心を豊かにすること

は大切なことである。振興条例を制定した本市として、基本政策実現のため、計画をたてべきではないか。  
**教育長** 市民の声や要望を聞く作業も必要なので、単年度では無理であり、審議会をつくって検討する。

**問** 丹後文化会館の老朽化に伴い、京都府に改修の要望を繰り返しいるが、進まない。文化芸術に親しんでもらえる環境づくりが必要ではないか。  
**市長** 市の主体的な意向も持ちながら、府に力をもらおうよう繰り返し要望する。総合計画の見直しの中で、庁舎、図書館、子育て施設など多面的な取り組みを進める。



バス停までが遠い

**学校給食費を無償化に**  
**問** 給食費は月額一人約4000円。3人いると12000円にもなる。大変な負担である。無償化への検討は。  
**教育長** どの程度にするか含めて、慎重に調査検討に入る。来年度調査する。食育、地産地消、校区農家からの購入など整理がいる。

一般質問

久美浜湾での養殖業について市の考えは

市長 漁協、京都府と連携し積極的に支援していく



丹政会 和田 晋

問 本年度で一区切りとなる海業推進事業計画について成果と今後の見通しはどうか。

市長 計画は現時点で目標値を達成し、一定の成果があったと考える。海業は漁業の振興を果たしていくことが重要である。作り育てる漁業との関係も含めて計画に盛り込んでいきたい。

問 久美浜湾での水上バイク利用において、マナーを守らない利用者がいる。牡蠣棚が壊されるなど被害が出ているが、市の対応は。

市長 今後は京都府の条例に基づき、漁業とマリレジャーの共存に向け、周知や安全啓発を府とともに実施していきたい。

問 久美浜マリンプラザの有効活用を望む声が

あるが市の考えは。

市長 牡蠣小屋や集荷場での活用などについて地元区、漁協支所、漁業者と早急に協議を進めていきたい。

キャンプ場について

問 コロナ禍でキャンプ場の注目度が高い。今後の整備と運営のあり方について問う。

市長 機能維持のために必要な改修を進めていきたい。単に現状回復だけでなく、付加価値が高まる工夫を加味していきたい。使用料は設置時のまま変更されない状況であり、来年度にはできるだけ早いタイミングで検討していきたい。

観光について

問 新型コロナウイルス禍の中、観光事業者を支える本

市の施策は適切であったか。

市長 経費は妥当であり、最小の経費で最大の効果を得るという取り組みにつながった。観光条例は多くのメディアに取り上げられ本市の認知度も高まり、訪れるお客様の安心にもつながり成果は大きいと考える。



被害にあった養殖事業者の牡蠣棚

一般質問

公共施設使用料の見直しが必要ではないか

市長 あらためて整理していくことが必要だ



丹政会 中野勝友

問 合併以来、施設の使用料の見直しがされていない。維持管理費など課題はないか。

市長 財源確保は課題だ。老朽化した施設が多く、緊急的な修繕なども心配されるが、使用料の見直しだけでは対応できない。

問 施設使用料が無料とは、維持管理費用を

使用しない人までが負担しており、受益者負担の公平性を担保することからも利用者から使用料を徴収すべきではないのか。

市長 コロナの状況を踏まえながら来年度、検討を行い、条例改正を提案したい。

これからの地域づくり

問 限界集落など、どのように維持していくのか、市長の描く集落自

治とは。

市長 引き続き小規模多機能自治を展開していくことで、多彩なメニューやビジネス要素も踏まえ、まちづくりを牽引する力になる。

問 かせぐ地方創生の観点から、地域において、かせぐ手立て、方法を持つなど検討していないのか。

市長 コミュニティを維持させるためにも挑戦できる体制は必要だ。総合サービス株式会社などが地域と連携し、まちづくり株式会社として機能を拡充できないかと考えている。

まちの将来像を問う

問 庁舎は2案とも浸水想定区域内だが、立地として適正なのか。

市長 条例において庁舎の位置を定めており浸

水想定は、2案ともに比較し、リスクの差と捉え、現在、検討評価を行っている。

問 府との複合、合同的な庁舎など検討できないのか。

市長 委員会では、まずは2案について議論し、さまざまな意見を参考に方向性を模索したい。



キャンプ場など施設使用料の見直しが必要

一般質問

4ヶ月検診時のブックスター  
トの復活を

市長 前向きに検討していきたい



丹政会  
東田 真希

**問** 産後支援のさらなる充実への検討は。

**市長** 4月から産後ケア事業の対象は、産後4ヶ月から1年まで広がる。また、既存事業の拡充による家事支援を検討している。

**問** 成年後見制度について  
**問** 認知症の現状と課題は。

**市長** 市の有病者推計は令和7年に4027人で65歳以上の5人に1人は認知症になる可能性がある。認知症に対する誤解や偏見、仕事と介護の両立、詐欺被害など、さまざまな課題があり取り組みの充実が必要である。

**問** 認知症の方が安心して暮らしていくために  
成年後見制度があるが、市の取り組みは。

**市長** 利用促進基本計

面を策定中。広報啓発に取り組み、中核となるセンターを4月に設置。社協と連携し、利用を促進していく。

**問** この制度が必要な方が届いて利用されることが大切。身近なセンターになるように愛称をつけてはどうか。

**市長** 検討したい。

多文化共生について

**問** 子育て教育に関して、外国にルーツのある子どもや家庭をしっかりと支援できているのか。

**教育長** 丁寧な支援をしているが、十分に伝わらないこともある。今後も継続的な個別支援・連携をしていく。

**問** 図書館の充実について  
**問** 国会図書館デジタル化資料送信サービス導入検討のその後は。



絵本を介して楽しい時間を全ての赤ちゃんへ

**教育長** 1月下旬から、峰山、網野図書館で導入を予定している。

**問** 図書購入費は図書室の整備で減額されたが、利用者との比例するよう購入費を増やすべきでは。

**教育長** 資料費は重要だ。必要な予算の確保に努めていきたい。

一般質問

除雪を効率よくするための  
除雪マップ作成を

市長 市民や区の協力をいただきながら作成したい



丹政会  
平井 邦生

**問** スムーズな除雪のため、区や市民の方の協力をいただき、路線ごとの雪の仮置き場、

**問** 除雪時の注意箇所、留意点が記載された除雪マップを作成するため、あらためて各区との打ち合わせが必要では。

**市長** 大変重要で作成していきたい。市民の方各区の協力が必要であり、今後、相談しながら取り組みたい。

**問** 通学路など、PTAや地元の方の協力が重要である。除雪機などのさらなる支援は。

**教育長** 除雪機の予備がある場合があるので相談してほしい。

**問** 市民、企業、地域としての自助、共助に対する市長の思いは。

**市長** しつかりとした除雪が第一。時差出勤などの方法は、全国の

事例を勉強していく。

**問** 地区避難所運営のための資機材の補充、避難所増設の支援は。

**市長** アルコールなど消耗品不足分について連絡あれば補充する。

**問** 避難所運営のリーダー、サブリーダー研修をもっとすべき。

**市長** 研修会を継続して行う。各地区に持ち帰って研修をしていただきたい。

**問** 避難訓練など形式的になってないか。

**市長** 防災訓練やシンポジウムなど、継続して工夫していく。

**問** 災害や避難情報でケーブルテレビでのデータ情報の活用を。

**市長** 防災無線、ホームページなどで災害情報を出している。来年6



除雪は、行政・業者・市民との協力で

一般質問

網野区長会の提言、今後の展開や見通しは

市長 本庁舎の帰趨<sup>きすう</sup>をみて、検討を進めていきたい



丹政会  
谷津 伸幸

持続可能な

地域づくりについて

問 地域を活性化するための地域拠点の整備は、市民にとって一番身近で重要なまちづくりだが、拠点整備の考えは。

市長 旧町市街地を形成する地区は、その周辺の発展を先導し、地域に適したサービスを提供する地域拠点として地域振興機能を充実させるとともに、コミュニティ拠点として活性化を目指す。都市拠点と地域拠点のネットワークを構築。市全体がにぎわい活性化をまちづくりを目指す。

問 まちづくりや観光振興等の地域戦略、中山間の現状を踏まえ、スクールの活用を含めた公共交通網再編をどうするのか。

市長 北部5市2町で

圏域内の交通ニーズ調査を実施。令和3年度に地域公共交通計画を策定する。

問 網野庁舎跡地について、明るい網野の未来を開くため、世代間交流を生み、まちづくりを進める交流拠点としての構想が提言された。今後の展開や見通しはどうか。

市長 構想はしっかりと受け止める。市のまちづくりの中で実現に向けて検討を進めたいが、庁舎整備の帰趨を見た後に進める。

問 災害協定について

市長 来年度、処理計画を策定する。災害廃棄物の収集運搬については年度内をめどに協定

を締結する。

問 災害時の応援は事業者に余力がないとできない。公共事業の費用対効果だけでなく、災害時の備えとしての考え方はないのか。

市長 普段から、協力していただけ環境を整えることが大事。それを心掛け、さまざまな対策を検討したい。

問 丹政会は、令和3年度の予算編成に向けて要望書を提出した。今回はその中で何点か市長の思いを問う。

一点目は、庁舎整備のあり方について、合同庁舎も含めた幅広い検討が必要と思うが。

市長 現在庁舎整備検討委員会で、増築棟案と旧丹波小を活用する2つの案について評価検討をしている。その中で合同庁舎も含め、その他の案についても意見をいただいている。

問 市長としての考えはどうか。

市長 現在庁舎整備検討委員会で審議されているので、しっかりと見守っていきたい。

問 市長は、前回増築棟で議会に提案された。今回、市長の考えが見えてこないが。



街中の大きな空き地。活用が望まれる庁舎跡

一般質問

庁舎整備の考えは

市長 検討委員会の答審を待ちたい



丹政会  
池田 恵一

市長 前回増築棟で議会の承認をいただいていた計画まで認めていただいたが進んでいない。このことを思うと慎重にならざるをえない。何が問題だったのか専門的な意見、地域の思いも入れながら検討委員会で議論していただいているので結果を待ちたい。

市長 基本計画まで認めていただいたが進んでいない。このことを思うと慎重にならざるをえない。何が問題だったのか専門的な意見、地域の思いも入れながら検討委員会で議論していただいているので結果を待ちたい。



どうする新庁舎

一般質問

久美浜湾全体の観光は

市長 それぞれ検討する



新 政 会  
和田正幸

**問** アメニティ久美浜公園は、景色・芝生広場としても良い所で、最近は家族連れが多い。草刈り・空き缶などの手入れを、今後どのように維持するのか。

**市長** トイレは月2回、草刈りは年2回行っている。今後、地元へ委託を進めるのか検討を始めている。

**問** 久美浜湾はカキ・トリガイ・ワタリガニ・クルマエビ・ハマグリ等があり、地元で取れるフルーツ・野菜など、多くの食材も豊富にある。アメニティ久美浜を総合的な拠点施設にしてはどうか。

**市長** 地元住民の話合い、久美浜まるごと実践会議等で、久美浜の景観・歴史・自然産物などの魅力発信を全体の産業振興として、

今後のにぎわいづくりをワークショップで議論し、施設運営のあり方、展望を絵に描いていただいた。市としては、いろいろな関わり方で検討できる。

**問** かぶと山展望台は久美浜湾・日本海が一望できる素晴らしい所だ。これからの本市の観光の目玉となる展望台に、キャンプ場からロープウェイを設置してはどうか。

**市長** かぶと山山頂には熊野神社があり、この神社を守る観点から慎重な意見があることも認識している。慎重な意見と、観光資源を地元として、どのように取りまとめるかが課題と思っている。

地元の話し合いの中ですべて行こうとなれば全国各地でロープ



かぶと山展望台

ウェイが観光資源になり、丹後の中に、次世代に素晴らしい施設を残すため、行政としても課題を精査するため検討に着手する。

海岸植生は

**問** ユウスゲ・トウテイランの保全是。

**市長** 環境相・京都府と連携し取り組む。

不妊治療への助成制度について課題は何か

市長 助成制度の周知や社会的理の促進と考える



新 政 会  
富田恵輔

**問** 不妊治療に対する市の取り組みは。

**市長** 不妊治療と不育症治療に対し費用の一部助成を行っている。

**問** 保険適用外治療の補助となる京都府の支援制度は指定された医療機関で受診することが必要であるが、京都府指定の医療機関は京都市内のみである。京丹後市民の当事者は京都市内までの交通費が大きな負担になっていると聞くが、市として支援はできないか。

**市長** 京都府の中で京都市内へ通うことに一番負担がかかる自治体だからこそ、真剣に考えないといけない。国の不妊治療支援拡充の動きに合わせて、市としても支援ができるよう前向きに検討する。

観光支援事業について

**問** さまざまな観光支援事業により観光業界は回復の兆しがある。一方、多重行政状態であり、宿泊施設は混乱し、消費者も分かりにくいと聞く。海の京都DMO、本市観光公社、北近畿広域観光連盟には市から財政支援をしていることから、連携して効果的な支援や運用ができないのか。

**市長** 選択肢が多いことは大きな誘客効果につながると考える。必要な情報は整理して示すことだと考える。

料の年間総額は。

**市長** 令和2年度はテレビ196台、その内カーナビ11台分の197万4千円。

**問** テレビではなくネット回線にして受信料がかからないように工夫もできると思うが。

**市長** テレビの方が災害非常時は早く情報を得ることができる。

NHK受信料について

**問** 行政はテレビ台ごとや、公用車のテレビ視聴が可能なカーナビもNHK受信契約が必要であるが、市が支払っているNHK受信



不妊治療費の助成制度は市のHPにて

一般質問

美しい公衆トイレを提供するための計画を

市長 総合的に管理するためには必要である



新 政 会  
鳴 海 公 軌

問 網野町小浜にある公衆トイレは非常に不衛生であるが、市の認識は。

市長 改善の緊急性が最も高いと認識する。

問 このトイレの今後の計画は。

市長 予算を組んで来年度内に改修する。

問 近くにも公衆トイレがあるため、このトイレを撤去して景観活用もできる。総合的に判断するため、適切配備・改修の計画を作成すべきだが。

市長 必要だ。今年9月に観光部が管理する公衆トイレの台帳を整理した。それをもとに判断していく。

丹後学の専門の指導員の育成・配置を

問 小中学校での丹後学の本質は「京丹後は

面白い！」と思える経験を通して、全ての子どもたちの人生の選択を豊かにすること。丹後学の成果と課題は。

教育長 京丹後で生きていこうとする生徒が増加した。経験のない教員の指導力に課題がある。各学校で工夫して研修してもらう。

問 丹後学の指導力は教員免許を取得する課程では身につけられない。また、教員人事は京都市の管轄のため、本市出身でない先生も多数いる。丹後学の指導力はどのように身につけるか。

教育長 学校現場で同僚の教員などから勉強するのがいいと思う。

問 丹後学の専任指導者を市教委で育成・配置すれば、本質的な丹後学をより広く深く実

践できるのでは。

教育長 丹後学は担任が行うべき。地域の人のつながりも全ての先生が持つべき。

市長 教育長を尊重するが、丹後学は多面的に効果が大きい。担任が力を発揮できる体制づくりのため、核となる予算を工夫し、配置のあり方を検討する。

問 丹後学というものを小学3年生から中学3年生まで、年間20時間から70時間やっている。その中で地域や事業者の方に協力いただいで、色々な体験をさせていたでている。その結果、中学3年生



公衆トイレは適切な管理が必要だ

一般質問

社会動態から見た人口減少問題について

市長 若者を中心に積極的な取り組みを支援していく



新 政 会  
多 賀 野 一 彦

問 コロナ禍の中、働き方改革を含め、積極的にテレワークやサテライトオフィス事業に取り組み企業が増えている。それらを本市で推進していくには。

市長 都市部では現在そういったことが普及してきている。特に地方への関心が高まってきていると聞いているので、積極的に誘致していきたい。

問 ふるさとへの愛、誇り、魂を育て、将来本市に帰ってきてもらえる取り組みは。

教育長 丹後学というもの小学3年生から中学3年生まで、年間20時間から70時間やっている。その中で地域や事業者の方に協力いただいで、色々な体験をさせていたでている。その結果、中学3年生

のアンケートで、約5割の生徒が将来、社会人となっても本市に住み続けたい、という成果をあげている。

問 高校生や若者を中心とした「未来チャレンジ交流センター」の目的と取り組みは。

市長 未来のまちづくりのために若い力でのチャレンジを応援するということで、本年10月に創設した。今現在、その中で三つのアイデアができ、12月にプロジェクトを開催する予定である。

問 起業家誘致のために、本市としてできる支援とバックアップについて。

市長 将来の展望、夢を持ってチャレンジできる環境を整備していきたい。例えば本市には多彩な産業があり、そ

れらにICTを掛け合わせ付加価値豊かなビジネスができないかと、iUIノベーション専門職大学等と連携して、ICTをテーマにビジネスコンペのようなものがないか検討している。そういったことで若者が入ってきたくなるような場を創っていききたい。

問 起業家誘致のために、本市としてできる支援とバックアップについて。



将来の世代へと繋げていくビジョン

一般質問

指定管理制度における施設の管理について

市長 戸別施設計画に基づいた管理を行っている



新政会  
川戸 一生

問 京丹後市の指定管理施設の状況は。

市長 平成18年度、公共施設654施設のうち、110施設を指定管理者に委託した。

問 指定管理施設の将来における整理は。

市長 毎年、基本理念に沿ったサービスができていくか確認し、個別施設計画により整理する。

問 指定管理施設における休業補償は。

市長 基本協定書の定めに基づき対処する。

問 指定管理施設における医師等の確保は。

市長 可能な限り市立病院から医師派遣を行うなど、普段から関係構築に努める。

福祉避難所の運営について

問 福祉避難所に避難する対象者は。

市長 主として高齢者、障害者、乳幼児、その他の特に配慮を要する方を想定している。

問 その対象者の把握について。

市長 毎年、区長と民生委員の協力を得て調査している。

問 福祉避難所を運営するスタッフは。

市長 各支部に配置されている避難救護対策班と1名以上の保健師を配置する。なお、スタッフとして福祉施設・障害施設の協力を求めている。

問 避難行動支援プランについて。

市長 基本的な世帯個人情報などの他、緊急時の情報などを事前に登録し、支援員による安否確認と、避難行動を計画している。

問 今後の福祉避難所

の取り組み方針は。

市長 支援の必要な方が漏れることなく登録し、個別の支援計画に従って、福祉関係者と連携した福祉避難所運営訓練を実施する。



地域の福祉避難所

一般質問

上野遺跡で出土した石器の常設展示は

市長 実物展示ができるよう検討していく



新政会  
櫻井 祐策

問 歴史文化という地域資源をコンテンツ化し、地域経済の振興につなげる考えは。

市長 本市の歴史文化は素晴らしいと捉えている、コンテンツを介しての発信は検討が必要であり、市教委と推進していく。

問 地域経済を支えるためにも、本市の「産業連関表」の作成をすべき

問 市民連携すいしん本部とアドバイザーの関わりは。

市長 特定プロジェクトだけのアドバイザーではなく、域内外の民と民の連携を促していくためのアドバイザーであり、無報酬で取り組んでいただく。

問 コロナ禍の中、市内各事業所の景況は。

市長 商工会が行って

いる地域経済動向調査レポートでは、前月比6・9ポイント全業種で回復したが、今後とも動向を注視していく。

問 地域経済動向調査レポートの他に、市内の景況観を示すデータはあるのか。

市長 ほくとしんきん中小企業景況レポートや、丹後機械金属工業組合の景況調査、丹後織物業組合は、月ごとの白生地の生産数を根拠に景況調査をしている。また、京都産業21北部支援センターの景況調査等もある。

問 市内企業に対する今後の支援策は。

市長 運転資金を借りる支援は、一定満たしてきている。今後は、借りた資金を基に本業でどう稼いでいくか、その支援が必要。

問 産業連関表の作成を市民連携すいしん本部のプロジェクトとして取り組む考えは。

市長 産業連関表は専門性、優位性は非常に高いものであり、市民連携すいしん本部とどのような関係性を持たせていくのか検討し、ぜひ前向きに検討を進めたい。



3万6千年前の府内最古の石器

一般質問

市長は、どんなまちをつくっていくのか

市長 歴史文化を活かし、産業振興を図る



新政会  
水野孝典

**問** 山陰海岸ジオパークをどう評価し、観光や産業、教育振興にどう活用していくのか。

**市長** 府内最多40の温泉源を有し、ジオツーリズムや幅広い産業振興の資源で学習教材としても有効。経済活動に十分生かすため、今年10月に最大活用会議を立ち上げた。

**問** ジオパークと親和性が高い山陰近畿自動車道の進捗状況は。

**市長** 峰山IC・網野IC間の事業化を要望中で、兵庫県境までのルート決定に向け京都府が調査中。森本、周枳、河辺、新町地区で用地測量が完了し、用地買収が進む。森本高架橋も工事中。周枳地区等で埋文の試掘調査中。峰山インター線では、新町、荒山で用地

買収の交渉が進む。**問** 本市にはルーツからみて、「歴史都市」を標榜する根拠や価値、証拠が十分ある。全国に発信してはどうか。**市長** とても興味深い提案だ。宣言、計画、条例などの行政手法がある。時機を捉え、問題意識をもって臨む。**問** 本市は伊勢神宮の内宮、外宮と関係が深い。伊勢市と(仮称)「歴史文化姉妹都市提携」を結ぶ考えは。**市長** 伊勢との縁は深い。時機をみて、投げかけるべく検討する。**問** 俳優の榎木孝明氏に期待できるものは。**市長** 市民との交流を視野に入れ、時代的、文化的、歴史的なまちづくりに取り組む。**問** 有害鳥獣による被害防除のため、市が大胆

に直接事業を行うべきと考えるが。

**市長** 国府補助金の満額割当を求めつつ、市も最大限の支援と対策を講じる。

**問** 水道水源の安全を確保するため、保全条例を制定する考えは。

**市長** 水質基準は満たしている。条例制定のニーズは、現在ない。

**問** パリ協定が2016年に発効され、バイデン次期大統領も即復帰を表明している。総理大臣においても「2050年に温室効果ガス排出実質ゼロ」を表明された。積極的に地球温暖化対策を推進してきた市長としての認識はどうか。

**市長** とても大切なこと。まちづくり基本条例等においても、環境を大切に、守り生かしていくことを明記している。国際社会の一員として、地球規模の気候危機において、グローバルな取り組みが、生かされると認識している。できる限りのことをしていく。

**問** 「ゼロカーボンシティ」の表明を早期に行うべき。今までの政治姿勢を見ると温暖化対策

に、大変積極的だと認識している。現在、158自治体が表明しているが、企業・団体が主体性を持って取り組むことが大切であると考えるが。**市長** 表明させていた。5月に就任する中で、準備を指示している。国においても取り組みが加速化しており、12月14日に地球温暖化実行計画の事務事業編を策定するがその中にも位置付ける。**問** 環境省に「ゼロカーボンシティの実現に向けた地域の気候変動対策基盤整備事業」の補助メニューがあるが、積極的な活用が必要ではないか。**市長** 来年度、区域施策編の計画を見直す中で、市民の理解を得るための材料として、地



比沼麻奈為神社(久次)

一般質問

ゼロカーボンシティの表明を早期にすべきだ

市長 準備をできており、12月14日に表明する



無党派  
松本聖司

**問** 自治体の定住促進に対して有効で、環境に対する積極的な取り組みが、その地域の将来性として評価される時代と考えるが。

**市長** 環境や安全・安心を大切にして未来世代に感謝されるまちづくりを目指したい。

**問** 環境や安全・安心を大切にして未来世代に感謝されるまちづくりを目指したい。

**市長** 環境や安全・安心を大切にして未来世代に感謝されるまちづくりを目指したい。



市民太陽光発電

## 議案に対する各議員の賛否一覧表

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては、全員賛成で可決されました。

会派名 議員名 案件	議案の可否	新政会							丹政会					日本共産党			創明	無党派		
		水野孝典	川戸一生	櫻井祐策	多賀野一彦	富田恵輔	鳴海公軌	和田正幸	池田恵一	谷津伸幸	中野勝友	東田真希	平井邦生	和田晋	田中邦生	平林智江美	橋本まり子	浜岡大二郎	永井友昭	松本聖司
令和2年度京丹後市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	退	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除》 金田琮仁議員は議長職のため表決権はありません。

## 陳 情

陳情名	陳情者	陳情の趣旨	結果
コロナウイルス感染症拡大防止、一人ひとりが安心して学ぶための少人数学級を求める陳情	奥丹後地方教職員組合 執行委員長 岡 みゆき	少人数学級実現、教職員定数を増やすよう国に意見書を提出すること	趣旨採択
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を求める陳情書	全日本年金者組合 丹後支部 支部長 真下 相一	高齢による難聴で日常生活が困難になっている方への補聴器購入に対する助成を国や市に求める	不採択
米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 18	米軍基地建設を憂う 宇川有志の会 代表 増田 光夫	米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる住民の安全安心の確保をすること	継続審査

### 京丹後市議会の新型コロナウイルス感染症対策

京丹後市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として以下の対策を実施しながら議会運営を行っています。

- マスクの着用
- 消毒液による手指消毒
- ドアの開放
- 議長席、演台、質問席にアクリル板を設置
- マイク等の定期的な消毒
- 休憩中の換気(概ね1時間に1回程度)
- ソーシャルディスタンスに配慮した傍聴席の設置
- 委員会による管外視察研修の中止
- 市民と議会の懇談会の中止
- 新型コロナウイルス感染症対策の財源として活用するため、政務活動費の令和2年度予算減額を市長に要望(6月補正予算により200万円の減額)

#### お詫び

議会だより66号P2水道事業会計の内容に平成30年度決算の内容が混同しておりましたので、お詫び申し上げます。

# 市民の声

## 「農業を通じて丹後の未来像・理想像」を共有する

弥栄町 藤原 典道

私は農業を営んでおり、その中であらためて気づかされたことや感じたことがいくつかあります。

まず、農業の形態は人によって異なっているということ。それが目指す農業を持つており、自分なりに取り組み、そして実現していつている、これは農業の大きな魅力だと感じました。

次に、自分一人の力は小さく、多くの人に助けられているということ。地主さん、作業を手伝ってくださる人達、先輩農家や農家仲間、行政や指導機関、JAや全農、また、応援してくださる地域の方々や家族など、私は本当に多くの人に助けられています。そのことに日々感謝しつつ、私も地域に恩返しをしたいと強く感じます。そして、個人ではな

く、組織として活動することの力強さや効率の良さです。JAの部会運営を通して感じたのが、成功や失敗の経験を共有することの大切さでした。特に失敗を共有することは重要で、別の人が同じ失敗をせずに済み、驚くほどのスピードで全体のレベルが上がっていきま

ました。一方で、丹後の農業は農家の高齢化、耕作放棄地の増加、産地としての技術・知名度の向上、土づくりなど様々な課題を抱えています。それらの課題を解決し、全国有数の農

業産地にすることで地域に恩返しができないかと考えています。幸いにも、同様に考えてくれる仲間があり、その仲間と一緒に頑張って実現に向けての取り組みを行っていきます。

今、その実現に向けて地域全体で「農業を通じて丹後の未来像・理想像」を共有することが必要ではないかと考えます。山登りがその目的地を目指している、それぞれのパースやアプローチでも同じか、同じ場所にとどまり着けると思っています。また、同じ目標を持つていれば異なるやり方をしていく人達でも協力し合えますし、地域全体で成功や失敗を共有出来れば「農業を通じて丹後の未来像・理想像」に近づくことも難しくないと考えます。



話し合う場を設け、「農業を通じて丹後の未来像・理想像」に向けて共通の意識を持ち、そして直接農業に携わってはいない地域の方々にも情報発信し丹後全体として同じ方向へ向かっていきたいと考えています。

この話について興味を持っていただけただ方は、丹後がこうなつてほしい、こうしていきたい」といったことを市やJAへ伝えていただければ幸いです。地域全体で丹後の未来をよ

くしていきたいでしょう。



◎ 広報編集委員会

- |    |       |
|----|-------|
| 委員 | 和田 晋  |
| 委員 | 中野 勝友 |
| 委員 | 谷津 伸幸 |
| 委員 | 浜岡大二郎 |
| 委員 | 平林智江  |
| 委員 | 櫻井 祐策 |
| 委員 | 鳴海 公軌 |
| 委員 | 富田 恵輔 |

## あとがき

すでにお気付きの市民の方も多いと思いますが、本会議場では12月定例会が始まる前に音響、照明、時刻表示パネルが改良され、スクリーンが新設されました。傍聴席も含め議場の隅々までしっかりと声が届くようになりました。おかげで発言も聞きやすく、加えてスクリーンを使つての説明は一段と説得力を増したように感じます。

冬に入り、心配されたコロナの第三波が全国的に猛威を振るう中で京丹後市でも12月下旬にクラスターが発生し、残念ながら多くの地域で感染者が出ております。感染された方の一日も早い回復をお祈りしますとともに治療に全力でご尽力いただいている医療関係者の皆様に心からの感謝を申し上げる次第です。

私たちも市民の一人として三密に十分に留意して他人に迷惑をかけぬよう、誹謗中傷をすることのないよう心掛けたいものです。幸いにコロナワクチンも開発され、間もなく日本でも接種が始まるとも聞きます。アフターコロナの生活が待たれます。

